

再評価結果（令和4年度事業継続箇所）

担当課：道路局 環境安全・防災課
担当課長名：荒瀬 美和

| | | | | | |
|--|---|--|--|----------|------|
| 事業名 | 地高ICアクセス 市道 瀬戸161号線 瀬戸工区 | 事業区分 | 地方道 | 事業主体 | 福山市 |
| 起終点 | 自：広島県福山市瀬戸町大字山北字赤羽 至：広島県福山市瀬戸町大字山北字宮ノ峠 | 延長 | 0.2 km | | |
| 事業概要 | | | | | |
| 福山市を東西に結ぶ一般国道2号は、慢性的な渋滞が課題となっており、地域高規格道路倉敷福山道路の整備が進められている。本路線は一般国道2号と倉敷福山道路（仮称）瀬戸ICを連絡する1次アクセス道路である。 | | | | | |
| R2年度事業化 | | H12年度都市計画決定 | | R2年度用地着手 | |
| R2年度工事着手 | | | | | |
| 全体事業費 | 約5.7億円 | 事業進捗率 | 約33% | 供用済延長 | — km |
| 計画交通量 | 4,100～10,900台/日 | | | | |
| 費用対効果 | B/C (事業全体) 1.9 (残事業) 4.5 | 総費用 (残事業)/(事業全体) 2.2/5.0億円 事業費：2.1/5.0億円 維持管理費：0.08/0.08億円 | 総便益 (残事業)/(事業全体) 9.7/9.7億円 走行時間短縮便益：7.2/7.2億円 走行経費減少便益：1.6/1.6億円 交通事故減少便益：0.96/0.96億円 | 基準年 | 令和3年 |
| 感度分析の結果 | | | | | |
| (事業全体) 交通量：B/C=1.7～2.3 (交通量±10%) (残事業) 交通量：B/C=3.9～5.2 (交通量±10%) 事業費：B/C=1.9～2.0 (事業費±10%) 事業費：B/C=4.1～5.0 (事業費±10%) 事業期間：B/C=1.8～2.0 (事業期間±20%) 事業期間：B/C=4.3～4.7 (事業期間±20%) | | | | | |
| 事業の効果等 | | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・福山道路及び本路線の整備により、新たな交通ネットワークが構築されることで、渋滞の解消・緩和、物流・人流の拡大を図り、市民生活の安全性や利便性の向上及び社会経済活動の活性化に寄与する。 ・福山道路の整備に伴い、事故の発生や交差点形状に課題のある交差点（赤坂バイパス早戸ランプ交差点）が閉鎖され、また、本路線の整備により新たに交差点を設けることで、地域住民の安全性の向上が期待される。 | | | | | |
| 関係する地方公共団体等の意見 | | | | | |
| 本路線が接続する福山道路（倉敷福山道路）については、備後地区建設促進協議会等から早期開通を要望されている。 | | | | | |
| 事業評価監視委員会の意見 | | | | | |
| 事業継続を妥当と認める。 | | | | | |
| 事業採択時より再評価実施までの周辺環境変化等 | | | | | |
| 2021年 8月 福山北産業団地第2期造成工事 工事着工 | | | | | |
| 事業の進捗状況、残事業の内容等 | | | | | |
| 用地進捗率約91%、事業進捗率約33% | | | | | |
| 事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 | | | | | |
| 引き続き工事及び用地買収を推進し、早期完成を目指す。 | | | | | |
| 施設の構造や工法の変更等 | | | | | |
| 今後も福山道路及びその関連工事により発生する建設発生土の流用、また、新技術の採用や工法の見直しによる工事コストの縮減等、総コストの縮減に努める。 | | | | | |
| 対応方針 | 事業継続 | | | | |
| 対応方針決定の理由 | 事業の必要性、重要性は変化なく、費用対効果の投資効果も確保されているため。 | | | | |

事業概要図



- ※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価値を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
- ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳と一致しないことがある。